

FUJITSU

shaping tomorrow with you

富士通アクセラレータ プログラムのご案内

第5期（2017年9月～2018年4月）

富士通アクセラレータプログラム事務局

Ver. 2.4 2017.09.27

Copyright 2017 FUJITSU LIMITED

内容

1. 富士通アクセラレータプログラムとは
 - ・ 目的
 - ・ プログラム概要
 - ・ 募集テーマ
 - ・ 参加メリット
 - ・ これまでの実績
2. スケジュール
3. お申し込み方法
4. プログラムサポーター
5. FAQ

■ 目的

- 革新的なスタートアップの技術・製品と富士通グループの製品・ソリューション・サービスを組合せ、世の中へ新たな価値を提供することを目的としています。豊富な顧客基盤を持つ富士通事業部門とのマッチングによる新たな事業機会の創出を目指します。

■ プログラム概要

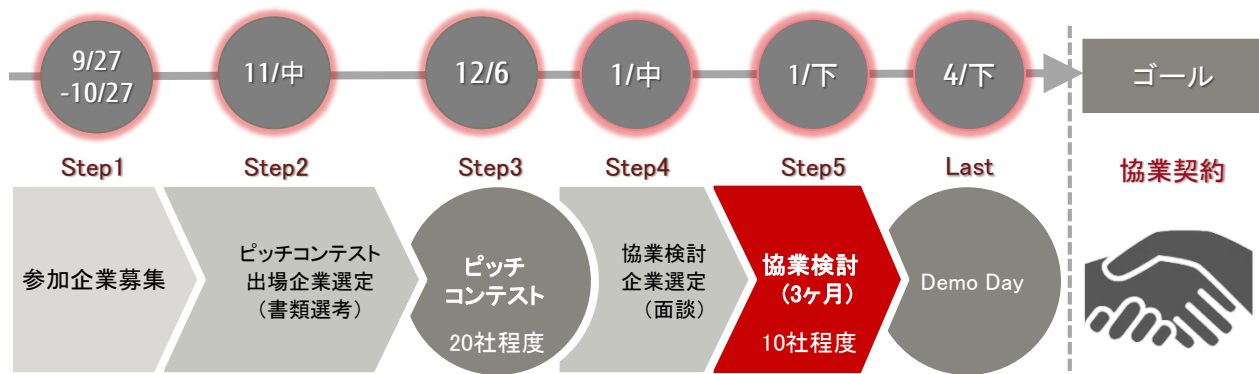
- 書類選考、ピッチコンテスト、面談によりマッチングされたスタートアップと弊社の事業部門が協業検討チームを組み、新たな事業創出に取り組みます。
(対象事業領域は、次ページ「募集カテゴリ」をご参照ください)
- ピッチコンテストは公開で実施します。弊社の各事業責任者に加え、メディアや事業会社の新規事業部門の方々などの出席を予定しています。事前にご相談させていただいた上で、事業会社の新規事業部門の方々を含めた協業を検討させて頂く場合がございます。
- 協業が成立した場合、弊社コーポレートベンチャーファンドから投資を検討させて頂く可能性があります。

(ご参考) 富士通のスタートアップ支援: <http://www.fujitsu.com/jp/about/corporate/cvc/>

■ 参加対象企業

- プロダクトを持つアーリー～ミドルステージのスタートアップ

■ プログラムの流れ



■ 参加メリット

- 富士通グループのアセットを最大限に活用した協業を検討
 - 国内最大級の顧客ベース(17万社以上)
 - 大規模事業展開に必要な機能
 - 販売チャネル、保守サポート体制、生産能力、コールセンター 等
 - クラウドプラットフォームを最大2年間無償利用可能
 - 会員制オープンアクセス型DIY工房「TechShop Tokyo」
(六本木アーク森ビル)を半年間無償利用
- 事業部門 幹部が参加し、協業検討チーム組成
- 弊社コーポレートベンチャーファンドからの出資検討
- 社内外のメディアを活用したプロモーションでスタートアップの商品をPR
- ピッチコンテストの公開開催(メディアへの露出)

1. 富士通アクセラレータプログラムとは

■これまでの実績 *50音順

富士通アクセラレータプログラム4期までで、計36社と協業検討を実施



■協業検討企業様の声



スタディスト株式会社
代表取締役
鈴木 悟史氏

画像・動画ベースのマニュアルをPC、スマホで作成・共有できるプラットフォーム「Teachme Biz」を提供。アクセラレータプログラムを通じて、事業部門の部長の方が集中的に対応してくれた。IoT領域での新しい事業の可能性を見つけることができ、スピード感を持って実証実験を行うことができた。



株式会社グリッド
代表取締役
曾我部 完氏

プログラム自体うまく設計されており、協業先部門のワークロードもきちんと確保されていて、頻度の高いディスカッションが行えました。ベンチャーのスピード感を意識した時間軸で協議が進み、さらに、最終発表を富士通さんの担当部門の方と協同で行う仕組みは特に面白いなと思いました。プレスリリース後、エンジニアの技術交流や、営業同行などが始まっており、今後の展開が非常に楽しみです。

1. 富士通アクセラレータプログラムとは



■ 募集カテゴリ

A～Iのいずれかのカテゴリに当てはまる新事業創出をご提案ください
(カテゴリの複数選択も可)

カテゴリ		協業テーマ案(例)
テクノロジーテーマ		
A	AI	<ul style="list-style-type: none"> AIプラットフォームサービスを進化させるディープラーニング技術、オリジナルなAI技術、自然言語処理など(富士通AIプラットフォームへの適用を想定) 様々な業種(金融、流通、自治体など)の大企業の課題や、特定市場の具体的な業務課題を解決するためのAI技術(文脈理解など)、ソリューション 感情認識、顔認識、特徴点画像(2D)・物体(3D)リアルタイム認識技術
B	セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> Cyber Physical Systemにおける新たなサイバー脅威を検知、対処できる技術(データセキュリティ等、特定領域に特化した技術でも可) 侵入した脅威に対する対応プロセス(検知～可視化～関係者との共有～対処～復旧の流れ)の効率化、自動化、可視化に役立つ技術
C	IoT	<ul style="list-style-type: none"> 業務の現場で容易に実装可能な省電力無線センサー センシングデータの可視化・分析に留まらず、製造現場の効率化・品質向上・省人化などに繋がるソリューションの共同開発
D	クラウドプラットフォーム	<ul style="list-style-type: none"> アプリケーション構築に役立つサービス(PaaS機能検索など) クラウドプラットフォームの運用管理において、開発、展開、監視の自動化を実現するサービスの共同開発 クラウドプラットフォームのログを収集・自動解析し、最適解をアドバイスするサービスの共同開発
E	ロボティクス／RPA	<ul style="list-style-type: none"> ロボット+RPA(富士通製)による、労働生産性向上のソリューション共同開発 人とロボットのインタラクションを強化する技術・サービス(音声認識、音声合成、多言語/方言対応、非言語コミュニケーション、画像認識など)
F	データ利活用	<ul style="list-style-type: none"> データ利活用プラットフォームに関する要素技術(PDS等のデータの取り扱いに関する技術/製品、ブロックチェーン実装技術/製品) 当社顧客のデータ資産、およびスタートアップのデータ資産の活用を通じた新サービス、プラットフォームの共同開発
適用領域別テーマ		
G	製造業	<ul style="list-style-type: none"> 製造業の現場あるいは保守保全業務向けに用途開発した技術・サービス データ入力 of 自動化 点検時、リアルタイムにアノマリ予測 AR/VR/MR技術 など
H	ヘルスケア	<ul style="list-style-type: none"> 企業の健康経営支援(従業員の健康管理、健康インセンティブ施策など)に向けたサービスの共同展開 個人の健康状態を可視化するサービスやデバイスの共同開発(富士通が保有する『舌画像』から健康状態を可視化する技術の活用や、富士通のヘルスケアプラットフォームへの適用を想定)
I	地域課題解決	<ul style="list-style-type: none"> 公共課題解決に向けたサービスの共同開発(住宅、交通、保育、介護など) 地方自治体が保有するデータを活用した新規サービスの展開 食農バリューチェーンや地域活性化を実現するための技術、サービス(AI、IoT、ブロックチェーン、AR/VRなど)

5期 2017年9月～ 2018年4月スケジュール

参加企業募集開始

9.27
2017

- 「お申し込み方法」をご参照の上ご応募ください。

応募締切

10.27
2017

ピッチコンテスト出場企業選定(書類選考)

- 書類選考は11月中旬までに行い、ピッチコンテスト出場企業のお知らせをします。

ピッチコンテスト開催(東京都内)

12.6
2017

- 書類選考を通過したチームによるビジネスプランコンテストを行います。

協業検討活動フェーズに進む企業を選定(面談)

- 面談は1月中旬までに行い、富士通との協業検討フェーズに進む企業のお知らせをします。

協業検討活動開始

1.下旬
2018

協業検討活動(3ヶ月間)

- 1～2週間に1回の進捗打合せを予定しています。
(チーム毎の進め方を決定)
- スタートアップと弊社事業部門によるチームを結成し、
協業検討活動を行います。
- メディアを活用したプロモーションを行います。

Demo Day(東京都内)

4.下旬
2018

- 協業検討活動の成果を発表。

- 下記の申込サイトより行っていただきます。

富士通アクセラレータプログラム第5期 公式サイト

<http://www.fujitsu.com/jp/innovation/venture/fap/entry05>

- ご質問やお問合せがございましたら、富士通アクセラレータプログラム事務局へご連絡ください。

〈富士通アクセラレータプログラム事務局〉

contact-fap@cs.jp.fujitsu.com

- 富士通(株)プライバシーポリシー

ご提出いただいた個人情報およびビジネスプランは、富士通株式会社のプライバシーポリシーに基づき厳重に取り扱いたします。

<http://www.fujitsu.com/jp/about/resources/privacy/>

■ プログラム運営責任者



富士通株式会社
執行役員常務
兼 CMO

阪井 洋之



富士通株式会社
執行役員
兼 マーケティング戦略本部長

山田 巖英

■ ピッチコンテスト審査員 兼 協業検討責任者



株式会社富士通九州システムズ
執行役員
大島 昭



株式会社富士通総研
執行役員
栢原 稔



株式会社富士通ビー・エス・シー
執行役員
仲田 孝司



株式会社富士通マーケティング
執行役員
浅香 直也



サイバーセキュリティ事業本部
本部長
飯島 淳一



デジタルフロント事業本部
本部長代理
中崎 毅

■ 富士通グループ ピッチコンテスト審査員 兼 協業検討責任者



ミドルウェア事業本部
デジタルウェア開発統括部
統括部長
原 英樹



デジタルソリューション事業本部
デジタルアプリケーション事業部
シニアマネージャー
斉藤 一実



行政システム事業本部
事業戦略統括部
統括部長
岡田 英人



ヘルスケアシステム事業本部
ライフソリューション事業部
部長
岡田 順二



デジタルビジネスプラットフォーム
事業本部
本部長
太田 雅浩



ネットワークサービス事業本部
IoTビジネス推進室
部長
黒下 和正



AI サービス事業本部
AIインテグレーション事業部
シニアディレクター
山影 譲



インバーティブIoT事業本部
本部長代理
小林 午郎



グローバルビジネス戦略本部
サービスプラットフォーム戦略企画室
シニアマネージャー
上和田 徹



AI基盤事業本部
ビジネス戦略室
室長
永井 浩史



株式会社富士通アドバンスト
エンジニアリング
先進技術センター
センター長
渡辺 佳男

4. プログラムサポーター

■ プログラム全体サポーター



富士通アクセラレータプログラム事務局

松尾 圭佑
徳永 奈緒美(代表)
塩谷 愛
吉崎 裕哉
近藤 秋乃
安西 潔

(左から)



(USA Office)

Fujitsu Laboratories of America, Inc.
Integration Service Center
Masahiro Onchi



(USA Office)

Fujitsu Laboratories of America, Inc.
Integration Service Center
Kanako Kamamatsu



(USA Office)

Fujitsu Technologies
and Business of America, Inc.
International Procurement Operations
Yuki Nishida



(USA Office)

Fujitsu Laboratories of America, Inc.
Open Innovation Gateway (OIG)

Andrea Cisneros
Ryoma Ohashi
Mohi Uddin Ahmed
Dave Marvit

(左から)



事業戦略統括部
マネージャー
(コーポレートファンド担当)
柘植 裕人



テックショップジャパン株式会社
代表取締役社長
有坂 庄一

■ 富士通アクセラレータプログラムについて

Q: このプログラムの目的は何ですか？

革新的なスタートアップの技術・製品と富士通グループの製品・ソリューション・サービスを組合せ、オープンイノベーションで世の中へ新たな価値を提供することを目指します。

Q: このプログラムはどのようなビジネスプランを対象にしていますか？

弊社が指定した分野を中心とした事業提携を目的としております。募集カテゴリや提案内容の例については、本資料 5 ページをご参照ください。

Q: このプログラムの特徴は何ですか？

富士通の事業部門で決定権を持つ幹部が、スタートアップとの事業創出に取り組みます。富士通が保有する大規模事業展開に必要なリソースを活かした協業プランを検討します。

Q: プログラム期間中、東京にいる必要はありますか？

定期ミーティングや各種イベントにはご参加頂きますが、それ以外は東京にいる必要はありません。

■ 富士通アクセラレータプログラムへの応募について

Q: 参加に費用はかかりますか？

応募に費用はかかりませんが、面談やピッチコンテストへのご参加頂く際の宿泊費・交通費等は弊社では負担いたしません。オンラインでの面談も可能ですので、ご希望の際は事務局へご連絡ください。

Q: 年齢・性別・国籍などで応募に制限はありますか？

年齢・性別・国籍に制限はありません。

■ ピッチコンテストについて

Q: ピッチコンテストを行う目的は何ですか？

協業プランと弊社事業部門との親和性を見極めるために行います。

Q: ピッチコンテストでは何をするのですか？

書類選考を通過した企業に、弊社との協業提案のプレゼンテーションをして頂き、事業部門との個別面談、協業検討に進む企業を選抜します。

Q: ピッチコンテストでは何社登壇されますか？

ピッチコンテストでは20社程度が登壇し、その後の事業部門との面談を実施する企業を選抜します。

■ 事業検討開始後の契約について

Q: 知的財産権はどのようになりますか？

参加者が本プログラム過程で、単独で新しく創出した「成果」に係る知的財産権は参加者に帰属します。「成果」に富士通が所有する知的財産権が含まれる場合、富士通の知的財産権について権利は移転せず、当該部分を除き、参加者が単独で開発した部分の知的財産権のみが参加者に帰属します。

FUJITSU

shaping tomorrow with you